

桜の木製パネル寄贈報告

ニュースレター#25「桜の花をモチーフにした木製パネル」、#28「新嘉坡日本人小学校の面影」、#61「桜の木製パネル設置報告」にてお伝えしたとおり、戦前の旧日本小学校から受け継いだ4枚の桜の木製パネルは、そのうちの3枚を日本人会アトリウムに設置しました。

そして残りの1枚を、このたび日本人学校小学部チャンギ校に寄贈しました。

桜の木製パネルが旧日本小学校からどのように受け継がれてきたのか、説明書きも一緒に寄贈しましたので、チャンギ校でぜひご覧ください。

この木製パネルを長い間保管して下さっていたスタンフォードプライマリースクールより連絡をいただいて、日本人会がそれを受け継いだのが、2022年12月でした。

それから史蹟史料部ではパネルの歴史を調べ、今後どのように保管していくか検討し、日本人会2階アトリウムに設置をして



左より、日本人学校 山田事務局長、チャンギ校 中谷校長先生、史蹟史料部 両頭、竹本副事務局長

在留邦人の皆様にご覧いただける場所に展示しました。

しかしこのパネルは元々は日本小学校にあったとされるものですので、日本人学校にもお譲りしたいという気持ちで日本人学校 山田事務局長にご相談させていただきました。

日本人会がこのパネルを受け継いでから2年、2024年12月にチャンギ校に寄贈することができ、桜の木製パネルを本来の場所にお返しできたような気がしています。

ご対応いただいた中谷校長先生に御礼申し上げます。



ニュースレター #25



ニュースレター #28



ニュースレター #61

